

日米共同訓練の規模縮小とオスプレイ参加の中止を求める意見書

日米両政府は、沖縄県外での訓練の一層の推進を図り、訓練活動に伴う沖縄の負担を軽減することを目的として、普天間飛行場に配備したオスプレイの訓練活動の県外移転を進めており、道内においては、2017年8月に続き、2020年1月から日米共同訓練「ノーザンヴァイパー」の実施が予定されている。

オスプレイが我が国に配備されて以降、2016年12月の名護市東海岸沖合におけるオスプレイの墜落事故をはじめとする事故や緊急着陸などのトラブルが国内外で相次いでいる。そのような中、2017年8月には、オーストラリア東海岸沖で墜落事故が発生し、これを受け、防衛省は、米国側に対し、国内におけるオスプレイの飛行を自粛するよう要請したところであるが、今後もオスプレイが参加する日米共同訓練が実施されるとなると、周辺住民への騒音被害に加えて、墜落などの重大事故の発生により道民の生命と財産が犠牲となる危険性がある。

さらに、ロシアとの国境に接する北海道において、オスプレイが広域的に飛行する大がかりな訓練を実施することは、北方領土問題にも悪影響を及ぼす可能性がある。

よって、国会及び政府においては、国民の生命、財産及び安心・安全な生活を守るため、日米共同訓練の規模を縮小するとともに、オスプレイの参加を中止するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和元年（2019年）12月11日

札幌市議会

（提出先）衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣
（提出者）民主市民連合及び日本共産党所属議員全員並びに市民ネットワーク
北海道石川さわ子議員